

登録No. S-045
 登録名 EC療法（進行・再発）
 催吐性リスク 高度
 適応疾患 乳癌
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	パロノセトロンバッグ デキサメタゾン ホスネツピタント	50mL/body 9.9mg/body 235mg/body		d1	d.i.v.	30min	輸液総量の1.8倍量を Drip-eyeに設定
Rp.2	エピルビシン 生食	100mg/m ² 50mL/body		d1	d.i.v.	全開	131mg以上の場合は生 食100mL
Rp.3	シクロフォスファミド 生食	600mg/m ² 250mL/body		d1	d.i.v.	60min	

1クールの間 3週間
 標準クール数 4クール
 最大クール数
 休薬期間の規定
 投与間隔短縮の規定
 その他（副作用・PS規定等）

副作用：骨髄抑制、嘔気、脱毛

- 心毒性あり。エピルビシンの総投与量は900mg/m²まで。
 他のアントラサイクリン投薬歴のある場合はエピルビシンの総投与量650mg/m²までOKだが、限界投与されている場合は禁忌。

更新：2024.4.16 制吐薬適正使用ガイドライン改訂に伴い制吐剤変更